

環境ラウンドシステム ラウンドテーマ別入力項目

テーマ	サブテーマ	入力項目							
個人防護具	手袋	項目名	使用場面	手袋の選択	装着前の手指衛生	排泄物処理後の外すタイミング	汚染の拡大防止	外し方	外した後の手指衛生
		チェック内容	血液やその他の感染性物質、粘膜、損傷のある皮膚、汚染の可能性がある皮膚に接触する場合は手袋を着用している。	ケイアや処置に適した材質や自分に適した大きさの手袋を着用している。	手袋装着前に手指衛生を行っている	排泄物を処理したら速やかに手袋を外し、手指消毒を行っている。	汚染した手袋で他の部位や環境を触らない。	手袋の外し方は適切である。	手袋を外した後に手指衛生を行っている
	ガウン	項目名	使用場面	ガウン種類の選択	脱ぐタイミング	脱ぎ方	廃棄方法	脱いだ後の手指衛生	
		チェック内容	血液、体液、分泌物、排泄物に接触する可能性がある場合にはガウンを着用している。	想定される汚染状況に適したガウンを着用している。	患者環境から出る前に、ガウンを脱いでいる。	ガウンの脱ぎ方は適切である	周囲を汚染しないように小さく丸めて廃棄している。	ガウンを脱いだ後は、手指衛生を行っている。	
	サージカルマスク	項目名	使用場面	表裏の確認	正しい装着	外し方と廃棄	顔マスク・胸マスク	外した後の手指衛生	
		チェック内容	血液、体液、分泌物、排泄物のしぶきが出る可能性がある場合はサージカルマスクを着用している。	表裏を確認して装着している。	ノーズピースを鼻の形に合わせ、鼻・口・下顎全体を覆っている。	表面に触れないようにゴムの部分を持って外し、速やかに廃棄している。	サージカルマスクを顎や腕につけていない。	マスクを脱いだ後は、手指衛生を行っている。	
	N95マスク	項目名	使用場面	サイズの選択	正しい装着	フィット具合の調整	フィットチェックの実施	汚染しない外し方	外した後の手指衛生
		チェック内容	空気感染の可能性がある場合はN95マスクを着用している。	自分に合ったサイズを選択している。	ノーズピースを鼻の形に合わせ、鼻・口・下顎全体を覆っている。	締めひもで顔面にフィットするように調整している。	装着後両手でマスクを覆い、フィットチェックを行っている。	マスク本体に触れないように注意しながら外す。	マスクを外した後は、手指衛生を行っている。
	ゴーグル	項目名	使用場面	正しい装着	緩みがない	視界の確保	汚染しない外し方	外した後の手指衛生	
		チェック内容	血液、体液、分泌物、排泄物のねやしぶきが出る可能性がある場合は、ゴーグルを着用している。	目全体がおおわれるように装着している。	フレームまたはバンドで緩みのないように装着している。	視界が遮られない程度で調節している。	表面に触れないようにバンドを外している。	ゴーグルを外した後は、手指衛生を行っている。	
	感染症患者部屋	項目名	病室前のPPEの設置	PPE装着前の手指衛生	PPEの選択	PPEの正しい装着	退室時のPPEの廃棄	PPEの適切な外し方	PPEを外した後の手指衛生
		チェック内容	病室の前に感染経路に適した個人防護具が設置されている	PPE装着前に手指衛生を行っている	感染経路に適した個人防護具を適切に装着している	感染経路に適した個人防護具を正しく装着している	部屋から出るときは個人防護具を外している	個人防護具の外し方は適切である	PPEを外した後に手指衛生を行っている
環境整備	病室	項目名	頻繁に手が触れる場所の清拭	ベッド周辺の埃	空調口の埃	床の上への物品	ドレイン、コンセントの整理	室内、廊下の不要物品の放置	
		チェック内容	ドアノブ、手摺、床頭台、オーバーベッドテーブル、ベッド柵は1日1回清拭清掃をしている。	ベッドの下、テレビの裏、カーテンレールなどに埃がたまっていない。	空調の吹き出し口や吸い込み口に埃がない	床に物が直接置かれていない	ドレインやコンセント類が床についでいない	室内や廊下に不要なものが放置されていない	
	浴室	項目名	ぬめりやカビ	悪臭	排水溝の清掃	排水溝の清掃	足ふきマット	椅子	シャワーカーテン
		チェック内容	床や壁にぬめりやカビが無い	シンクや排水溝からの悪臭はない	排水溝は清掃されている	排水溝は清掃されている	足ふきマットが共有されていない	椅子にはスポンジがついていない	シャワーカーテンにカビがない。
	点滴調製台	項目名	水回りからの距離	不要な物品の放置	作業前の清掃	点滴調製台の埃	針廃棄容器の設置	作り置きを輸液製剤	
		チェック内容	シンクなどの水回りから1m以上離れている。	点滴作業台の上には不要な物品が置かれていない。	注射作成時は作業台を清拭している。	点滴調製台のつりさげ部分やフレームに埃がたまっていない。	針廃棄容器が配置されている。	作り置きを輸液製剤がない。	
	トイレ・汚物処理室	項目名	汚物の停滞	汚物槽の水はね	床や壁の汚れ	使用後物品の放置	使用前物品の乾燥	物品の保管	
		チェック内容	汚物処理槽に汚物の停滞が無い	汚物槽の水はねがない	汚物室の床や壁は汚れていない	使用後のポータブルトイレや便器、尿器がおかれたままになっていない	使用前のポータブル便器や尿器・便器は乾燥している	使用前のポータブル便器や尿器・便器は清潔な戸棚に保管されている。	
	流し	項目名	清掃と乾燥	整流網の汚れ	スポンジ	ペーパータオル	シンクの使い分け	シンク周囲や下の物品の保管	
		チェック内容	シンク並びに周囲は清掃され乾燥している。	水道の蛇口の整流網が汚れていない。	スポンジは使用しないか、乾燥しやすくように置かれている	ペーパータオルは専用ホルダーに収納してある	手洗い用シンクの中で使用後の看護用品の消毒をおこなっていない	シンク周囲や下に清潔物品を置いていない。	
	廃棄物	針処理	項目名	針捨てボックスの所持	リキャップ	安全装置	針捨てボックスの交換		
			チェック内容	注射時は携帯用針捨てボックスを準備して患者の元へ行っている	リキャップをしていない	安全装置を自動させている	針捨てボックスは8割以下の容量で交換している		
感染性廃棄物		項目名	感染性廃棄物の表示	感染性廃棄物の分別	足踏み式の蓋	廃棄物の量			
	チェック内容	感染性廃棄物の表示がされている	感染性廃棄物の分別が正しく行われている	感染性廃棄物のボックスの蓋は足踏み式である	廃棄ボックスは8割を超えていない				
一般ごみ	項目名	一般廃棄物の分別	感染性廃棄物の混入	廃棄物の量					
	チェック内容	一般廃棄物の分別がされている。	一般ごみの中に感染性廃棄物が混入していない	ゴミ捨て容器からゴミがあふれ出していない					
手指衛生	プロセス	項目名	目に見える汚れの手指衛生	石けん手洗いの時間	擦式製剤の使用量	擦式製剤の使い方			
		チェック内容	目に見える汚がある場合、流水と石けんで洗った後、擦式アルコール製剤を使用している	流水と石けんによる手洗いは30秒以上かけて行っている	擦式アルコール製剤の使用量は適切である	擦式アルコール製剤は手指全体に乾燥するまで擦りこんでいる			
	タイミング	項目名	患者に触れる前	患者に触れた後	患者周辺の物品に触れた後	体液曝露の可能性がある時	清潔・無菌操作前	手袋装着前	手袋を外した後
		チェック内容	患者に触れる前に手指衛生を行っている	患者に触れた後に手指衛生を行っている	患者周辺の環境や物品に触れた後に手指衛生を行っている	血液や体液に曝露された可能性がある場合に手指衛生を行っている	清潔・無菌操作前に手指衛生を行っている	手袋装着前に手指衛生を行っている	手袋を外した後に手指衛生を行っている
設備	項目名	固形石鹸の使用	液体石鹸の補充状況	シンク近くのペーパータオルの設置	病室出入り口の擦式製剤の設置	擦式製剤の開封日と交換日の記載	擦式製剤の有効期限		
	チェック内容	固形石鹸を使用していない	液体石鹸は補充されている	手洗いシンクの近くにペーパータオルが専用ホルダーに収納してある	病室の出入り口に擦式アルコール製剤が設置してある	擦式アルコール製剤には開封日と交換日が記載されている	擦式アルコール製剤は開封後有効期限内である。		

注) 本入力項目体系は熊本大学大学院生命科学研究部 前田ひとみ教授の監修のもと、作成したものです。この項目を利用したシステム開発等の無断使用を禁じます。